

DIGITANA
SLS

SHIMANO

取扱説明書

CALCUTTA 3000

このたびは、シマノデジタナSLSカルカット3000をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
船釣りではシカケをいかに正確に棚までおろすか、すなわち棚取りの精度が釣果の決め手となります。

そこで、デジタナSLSシリーズでは、シマノ独自のSLS（シマノ・ラインプログラム・システム）を搭載。より正確な棚取りを可能にしました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、リール同様大切に保存してくださいませようお願い申し上げます。

特長

1 S L S(シマノ・ラインプログラム・システム)を搭載。すばやく、正確にタナを狙えます。

シカケの落下速度が速く、スリップから生じる誤差がないローラーレスのS L Sシステム。実測値をプログラムでインプットしますのでだれでも簡単に操作できます。

2 3種類のデータを同時に表示する、充実の液晶表示部。

大きくて見やすい「現在の水深」表示。

底と棚の2つの水深をメモリーできます。

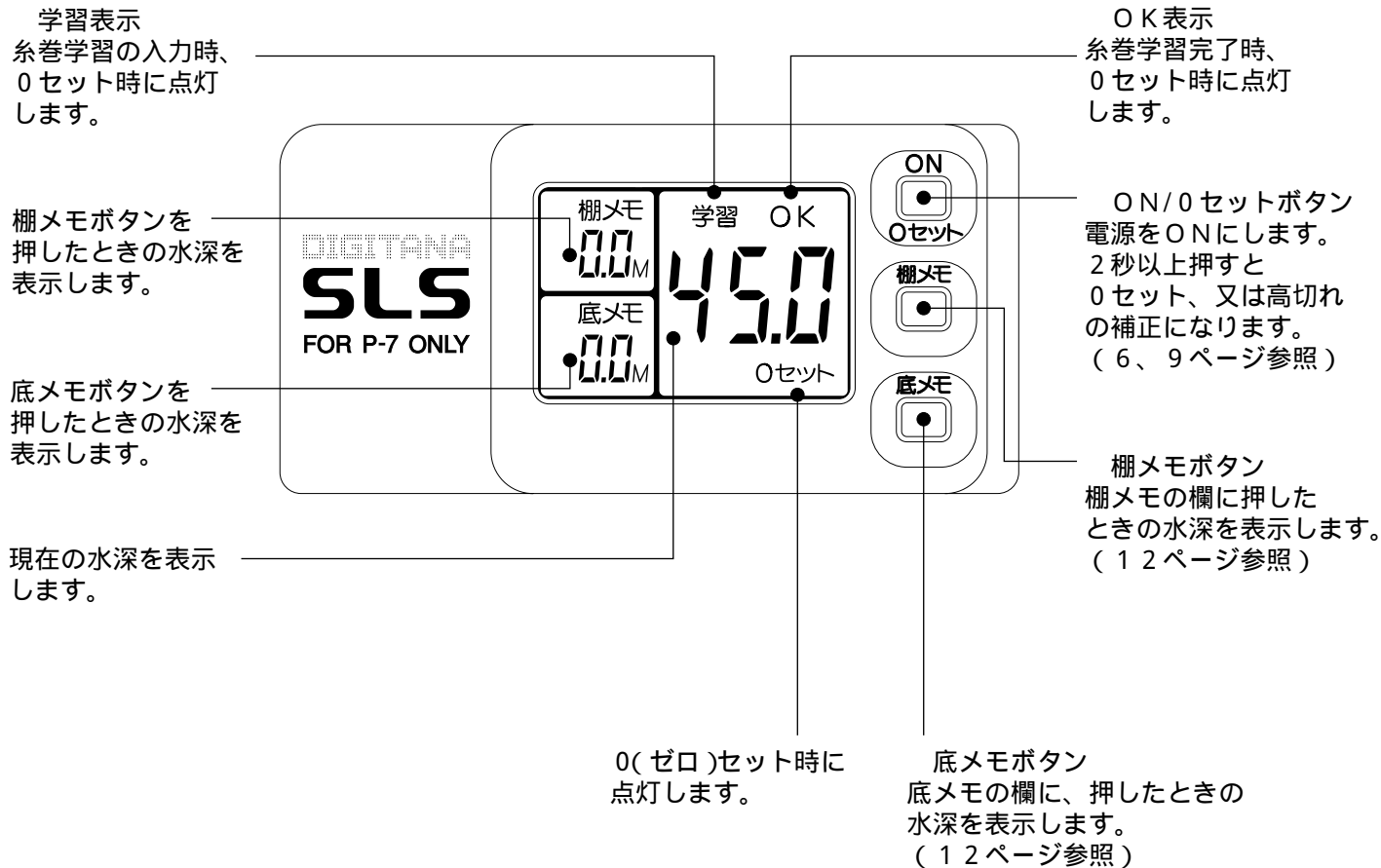
3 シマノデジタナシリーズだけの簡単操作。

正確な水深を表示させるための0セットシステム。

精密な棚取りができる0.1m単位のデジタル表示。
(100m以上は1m単位)

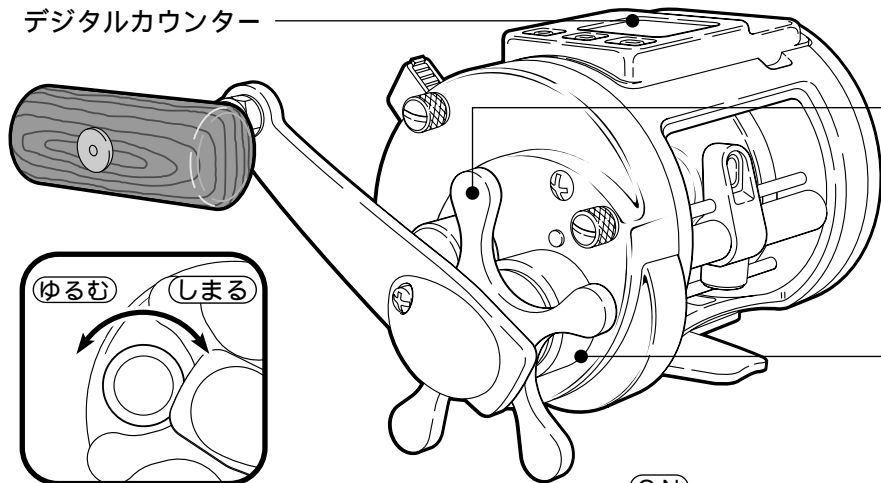
アラームで竿を上げればシカケが手元にくる船ベリアラーム。

デジタルカウンターの各部の名称



各部の名称

デジタルカウンター



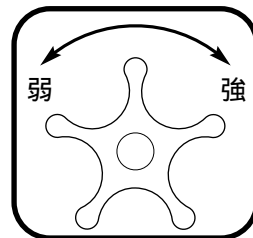
スプールコントロールツマミ

スプールの回転にブレーキをかけてシカケをおろす時のバックラッシュを防止します。右に回すとスプールのフリー回転にブレーキがかかり、左に回していくと、そのブレーキは弱くなります。

一般的な調整は次のように行います。リールをロッドにセットして、ガイドに糸を通し、使用するシカケ、オモリを結びます。クラッチを切ってシカケ落とします。このとき波の上下、シカケ、オモリの重さで糸がバックラッシュしない程度に調整します。

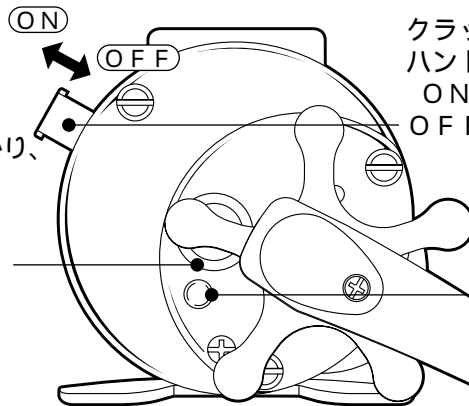
スタードラグ

魚が強く引いた時、ハリス切れをおこさないように糸を送り出す力を調整します。



スーパーストッパー

ハンドルをどの位置で止めてもピタッと逆転が止まります。気になるガタつきもなく、底取りに威力を発揮します。また、フッキング時のタイムロス、パワーロスを防ぎます。



クラッチ

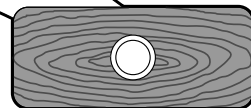
ハンドル正転するとONになります。

ON : シカケの巻き上げ

OFF : スプールをフリーにしてシカケをおろします。

ラインホルダー

糸を止めておくものです。



デジタルカウンターの使用方法 (使用するラインをリールに記憶させます。)

最初に糸を巻くときや糸を巻きかえるときは、下記の操作を必ず行なってください。

このリールは、スプール回転と糸巻量の関係をマイコンに記憶させるしくみになっています。

操作は、必ず以下の順番に従って行なってください。

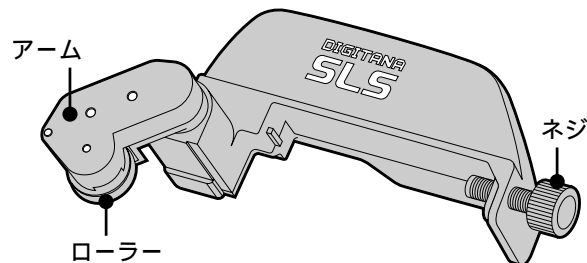
1 糸をセットします。

1 糸をスピールのピンに、結んでください。

2 4～5回ハンドルを正転させ、スピールに糸がすべらずに巻けることを確認してください。

2 プログラムを取り付けます。

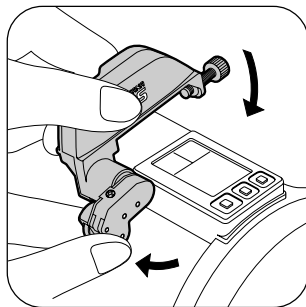
(付属のプログラムP-7をご使用下さい。他のNO.のものは使えません。)



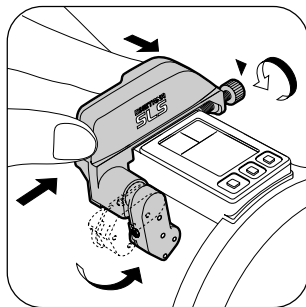
プログラムP-7の各部名称

デジタルカウンターの使用方法 (使用するラインをリールに記憶させます。)

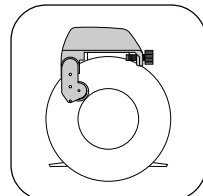
- 1** まず、プログラムのネジをゆるめます。
そして、アームが内側に入り込まないように、
指でアームを起こしながらセットします。



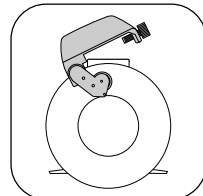
- 2** 図のように、表示部の横に
ピッタリくっつけてセットし、
ネジを締めてください。



正しいセット方法



誤ったセット方法



3 糸巻量を記憶させます。

- 1** 電源ONを確認してください。

液晶表示が点灯していると、電源ONの状態です。
点灯していない場合は、ON/Oセットボタンを押して、
電源をONにしてください。

電源をONする方法

ON/Oセットボタンを押してください。

電源をOFFする方法

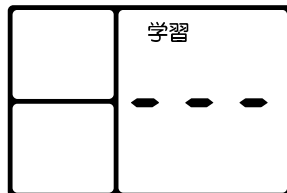
30分以上リールを動かさなければ、自動的にOFFになります。

ご自分でOFFにされる場合は“棚メモ”と“底メモ”のボ
タンを同時に3秒以上押し続けてください。

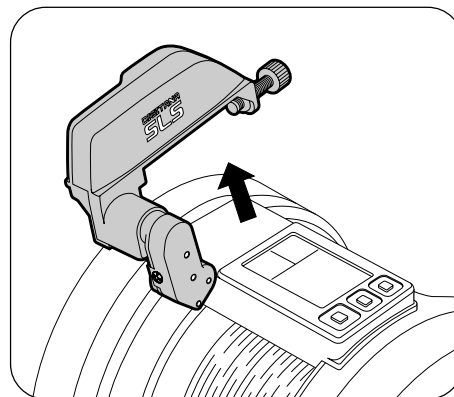
2 糸を巻いてください。

実際に釣りをするときと、同じくらいのテンションで、糸を巻いてください。
(約500g程度のテンションを目安にしてください。)

3 糸を巻き始めて、ローラーが糸にあたって回転するようになると、デジタル表示が図のようになります。



4 糸を完全に巻き終わったらネジをゆるめて、プログラマをはずしてください。



プログラマは糸巻学習時のみ使用します。
実釣時には、不要です。

デジタルカウンターの使用方法 (使用するラインをリールに記憶させます。)

5 底メモ、棚メモ、ON/Oセットボタンのいずれかを、押してください。

2回断続音が鳴り、巻かれた糸の量と、「OK」の表示が出ます。(巻き取り長さが2.6m以下ですと、「OK」の表示が出ず学習されません。)

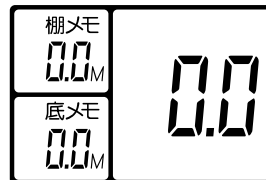


(例：300m巻いた場合)

通常船用の道糸は100m単位です。例えばポビン3巻で300m巻いたつもりでも、表示が303mというような数字になることがあります。これは糸の長さが長いために生じるものです。

6 これで学習は完了です。

学習が終わると、カウンターが「0.0」になります。(カウンターの数値と実際の糸のでた長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)



注意：
学習が終わった後、電源ONの状態ではンドルを回してスプールを空転させますと、表示はマイナスカウントになります。糸を出してもすぐにプラスカウントしない場合は0セットを行なってください。

0(ゼロ)セットの設定(釣りを始める前に必ず行ってください。)

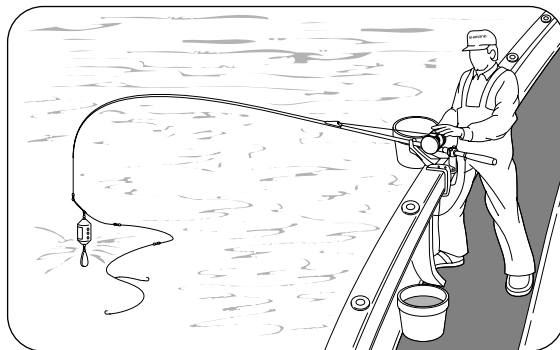
4 正確な棚取りを実現するために。

釣果アップには正確な棚取りが不可欠です。

そこで「0セット」を設定します。

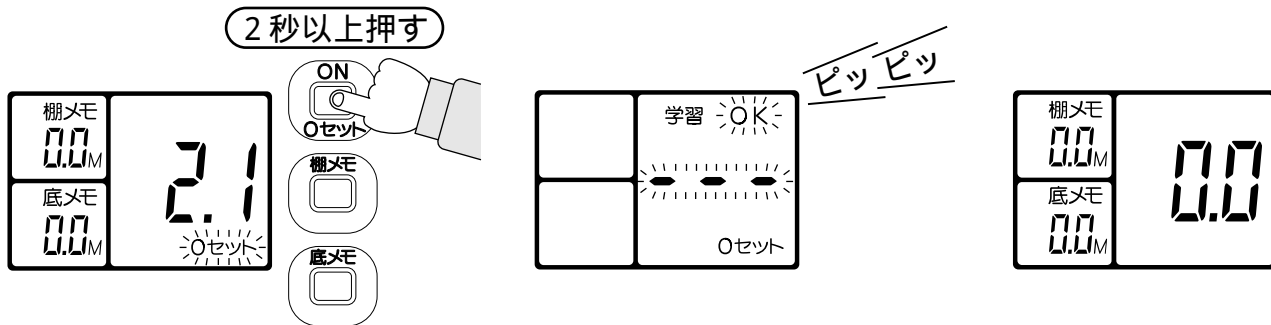
「0セット」とは、シカケが水面にある時を0mとして設定します。

「0セット」によって、シカケの位置が水面からの水深を示すようになり、正確な棚取りを可能にします。



シカケが水面にある時を0mとして設定します。

- 1 シカケを水面に合わせ、ON/0セットボタンを2秒以上押しして下さい。
- 2 下図のように表示が変わります。アラームが鳴り、バー表示、OK表示が点灯します。
- 3 これで0セットは完了です。



0(ゼロ)セットについて / 釣行時の注意

5 0セットを設定した後に。

0セットされた状態で糸を巻くと、マイナス表示されますが、これは0セットされた位置を基準として糸が巻き込まれていることを表しています。次に糸を出すと、0セットされた位置からカウントが始まります。

注意：

新品の糸を使用した場合、何回目かの釣行まで糸が伸びる場合があります。水面にシカケを持ってきても「現在の水深」が「0.0」にならない場合は再度0セットをやり直して下さい。

6 高切れした場合。

高切れした場合も同様の操作です。高切れしたところまで糸を巻き上げ、シカケをセットして、再度**1**、**2**の順で0セットを行なってください。これで、コンピュータが自動的に高切れした位置からの実測値表示にプログラムを変更します。

7 釣行時の注意。

30分以上キーの操作、スプールの回転がないなどコンピュータが動作しない時は自動的にスイッチOFFになります。通常の船釣りでは心配いりませんがトローリングでご使用になる時はお気を付け下さい。

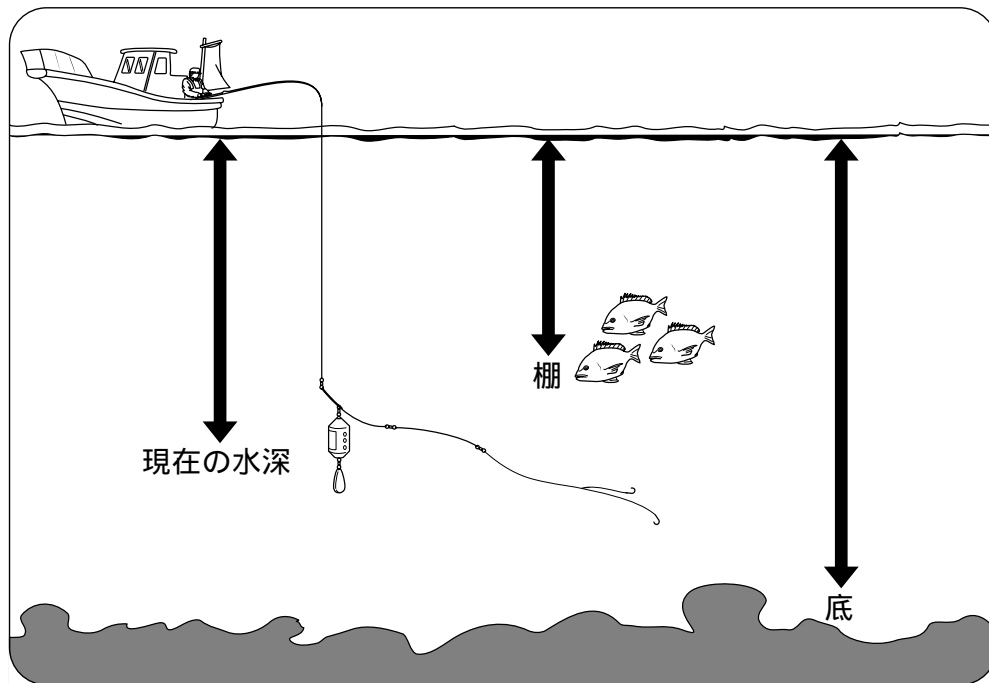
大物とファイトして糸が伸びた場合、実測とカウンターとの間で誤差が生じます。この時は0セットをやり直して下さい。

底メモと棚メモの2つのメモリー

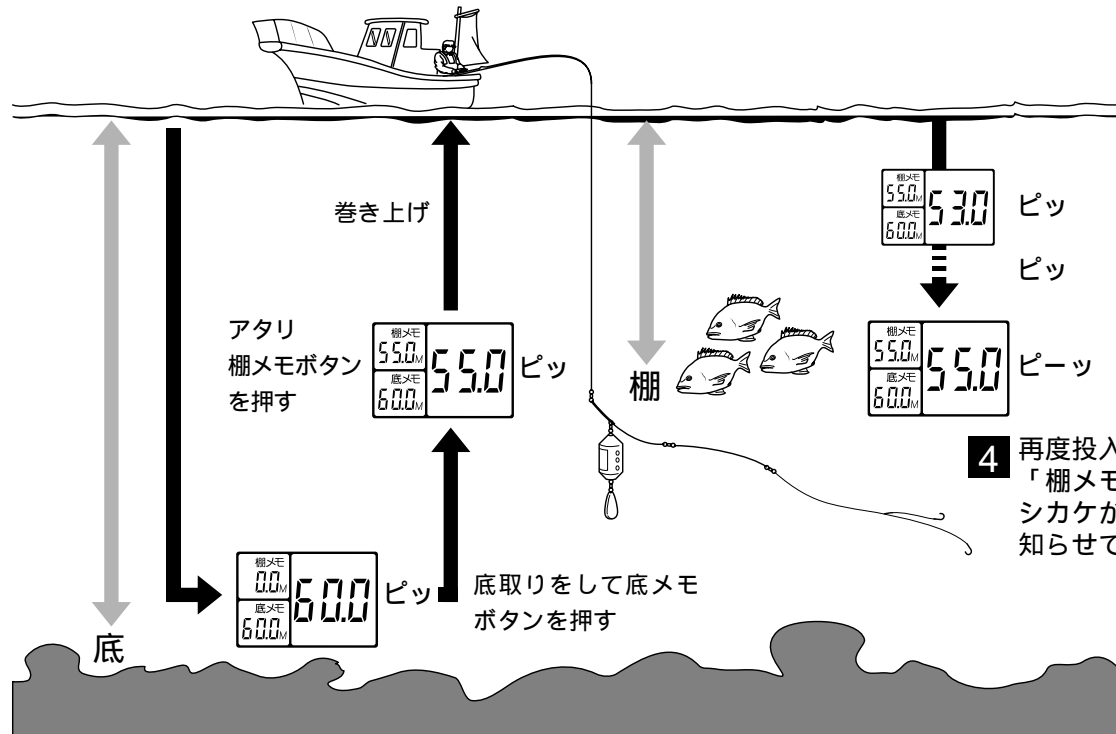
8 底メモと棚メモを活用しましょう。

一般的に船長が、魚群探知機で、魚のいる棚やシカケを入れる水深を見ます。そして、上から何m、または底から何mというように指示してくれます。

その水深に正確にシカケを持っていくことが釣果アップのポイントです。そこでこの2つのメモリーを次ページのように活用して下さい。



底メモと棚メモの実釣編



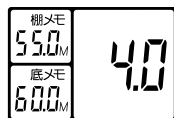
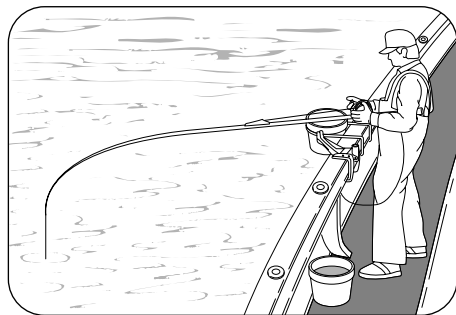
- 1 シカケをいったん底につけます。この時に「底メモ」のボタンを押して底の水深をメモリーさせます。
- 2 シカケを巻いて棚に持ってきます。これで「底メモ」と現在の水深との差が「底から何m」であることを教えてくれます。
- 3 アタリがあれば「棚メモ」ボタンを押して棚をメモリーします。
- 4 再度投入した際、「棚メモアラーム」によって、シカケが棚の位置にきたことを知らせてくれます。

船ベリアラーム

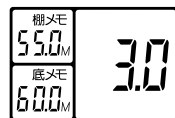
9 船ベリアラームが自動的にセットされます。

巻き上げを終え、竿を上げた時、シカケまたはコマセカゴが正確に手元に来れば、コマセの詰め替え、エサ付けがスムーズに行なえ、手返しを早くすることができます。

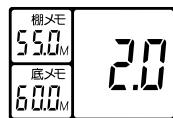
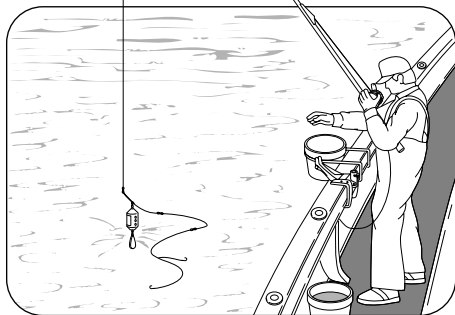
そこでこのリールでは、シカケが手元にある状態を毎回コンピュータが自動的に記憶します。ですから、船ベリの長音「ピーツ」アラームが鳴った時に竿を立てると、シカケが正確に手元にとどきます。



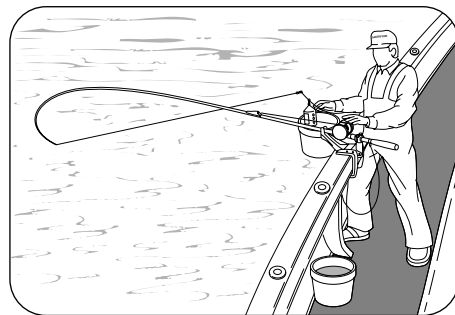
ピッ



ピッ



ピーツ



(注・竿の長さや、シカケの位置等、諸条件により、船ベリアラーム時のカウンターの数値はかわります。)

1 アラームは、記憶した船ベリ停止位置よりも、2 m手前から、3回鳴ります。

2 「ピッ、ピッ、ピーツ」と3回目
の長い「ピーツ」で、

3 巻き上げを停止して、竿を立てるとシカケが手元に来ます。

お取り扱い上の注意

デジタナ S L S は、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。
また、釣行後の手入れを十分行ない、未永くご使用ください。

1 ご使用上の注意

根掛かりしたときには、竿やリールで無理にあおらないで、糸を手にとって切るようにしてください。

デジタナ S L S はていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バッグ内で他の道具との接触による破損には十分ご注意下さい。

リールは落としたり、衝撃を与えないよう、ていねいに扱ってください。

2 お手入れの方法

各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させて下さい。特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないで下さい。

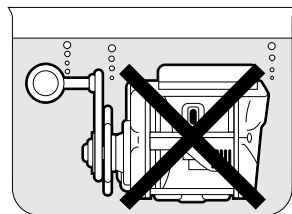
リールは分解しないでください。特にライトサイドプレートの内部は絶対に分解しないでください。

ハンドル部、切り換えレバーなどの可動部分には、リールオイルを注油してください。また、ドラッグ部分には絶対オイルを付けないでください。オイルが入るとドラッグ力が低下することがあります。ドラッグ部分には水が入らないようにしてください。プログラムのアーム先端のゴムローラには絶対にオイルを付けないでください。正確な糸巻学習ができなくなります。

高温、高湿の状態が長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、左記の手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。

リール本体、特にカウンターユニット部は、水をかけたり、水に浸したりしないでください。

(カウンターユニットは日常生活防水仕様ですがトラブルを防止するため、水に浸したり、過度に水を掛けたりしないでください。)



3 製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に(例/ストッパーが働かない)お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所、本社サービス課へお問い合わせください。

仕様 / プログラマー一覧

4 仕様

品番	製品コード	ギヤ比	最大ドラッグ力 (kg)	自重 (g)	糸巻量 (号-m/テトロン糸使用)	最大巻上速度 (cm/ハンドル1回転)	スプール (径mm/幅mm)	ベアリング
デジタナSLS カルカッタ 3000	RF293000	4.7 :1	7	545	5-370	72	49/49	ボールベアリング 2
					6-300			ローラベアリング 1
					8-200			

標準付属品：布袋、プログラマ（P-7）、取扱説明書、分解図

5 プログラマー一覧

適合プログラマ	商品名	NO.
P-01	デジタナSLS小船タナピタ	2000/3000
	デジタナSLSマダイタナピタ	2000/3000
	デジタナSLS電動丸TM	2000/3000/3000H/3000EV
	電動丸	2000H/3000XT/4000XT
P-2	デジタナSLS船	4000/5000/6000
	デジタナSLSレバードラッグ	5000/6000
	デジタナSLSレバードラッグ2スピード	5000/6000
P-3	デジタナSLS電動丸TM	4000/4000H
P-4	デジタナSLS小船	2000/3000
	デジタナSLSマダイ	2000/3000
	デジタナSLSレバードラッグ	2000/3000
P-5	デジタナSLSティアグラ	50W/50WL.R.S.
P-6	電動丸	6000XT/6000H
P-7	デジタナSLSカルカッタ	3000






故障かな？と思われたときは

こんなとき	操 作	参照
液晶が点灯しない。	ON/Oセットボタンを押して下さい。 他のボタンでは点灯しません。	6
学習状態にならない。	プログラマを正確に取り付けて下さい。 ローラがスプールにきちんと当たっているか確認して下さい。 ON/Oセットボタンを一度押してから再度確認下さい。	6
学習OKにならない。	巻き取り表示が“ 27.0M ”以上あるか確認して下さい。	8
ラインを送り出しても カウントしない。	ON/Oセットボタンを一度押してから再度確認下さい。 お手数ですが再度学習の上確認下さい。	6~8
誤差が大きい。	お手数ですが再度学習の上確認下さい。 糸が伸びてマーカが不正確になっているときがあります。	6~8 10
液晶表示がうすい。	室温にて確認下さい。極低温（-5 以下）にて使用の場合 内蔵バッテリーの能力低下で表示がうすくなる場合があります。 そうでない場合は内蔵バッテリーの寿命と考えられます。 シマノサービスセンターにて交換いたします。（実費）	
ブザーの音に合わせて 液晶がチカチカする。	内蔵バッテリーの消耗によるものです。 その他の機能については問題ありません。 バッテリーは実費にて交換いたします。	

安全上のご注意 / サービスネット

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

 注意	
	<p>糸が勢いよく出ている時は、糸をつかまないでください。糸で指を切ることがあります。</p> <p>逆転防止付リールでストッパーをOFFにして釣っているとハンドルが逆転し、手に当たりけがをする恐れがあります。</p> <p>リールを釣り以外の目的で使用しないでください。</p> <p>リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。</p> <p>レベルwind付リールでは、糸をリードするレベルwindの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれて、けがをする恐れがあります。</p>
	<p>回転している時、回転部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。</p> <p>スプールと糸の間に指をはさまないように注意してください。指を切る恐れがあります。</p>
	<p>糸が勢いよく出ている時は、スプールの上に指を置かないよう注意してください。ヤケドや指をはさんでけがをする恐れがあります。</p> <p>長時間、魚とやりとりすると、ドラッグ収納部が熱くなる恐れがあります。</p>
	<p>ハンドルとボディの間に手をはさまないように注意してください。</p>

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 仙台営業所 〒982 仙台市若林区中倉2-21-5(原田ビル1号) TEL(022)232-4775	
株式会社シマノ 大宮営業所 〒331 埼玉県大宮市三橋2-684-1 TEL(0486)22-3815	
株式会社シマノ 東京営業所 〒143 東京都大田区大森南1-17-17 TEL(03)3744-5656	
株式会社シマノ 千葉営業所 〒284 千葉県四街道市美しが丘1-30-11 TEL(043)443-1780	
株式会社シマノ 名古屋営業所 〒454 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21 TEL(052)331-8666	
株式会社シマノ 大阪営業所 〒660 兵庫県尼崎市元浜4-85 TEL(06)418-4541	
株式会社シマノ 岡山営業所 〒700 岡山市青江930-12 TEL(086)264-6100	
株式会社シマノ 広島営業所 〒734 広島県広島市南区翠1-11-6 TEL(082)255-8143	
株式会社シマノ 四国営業所 〒768 香川県観音寺市流岡町1496-1 TEL(0875)23-2220	
株式会社シマノ 九州営業所 〒841 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6 TEL(0942)83-1515	
株式会社シマノ 静岡営業所 〒410 静岡県沼津市錦町674 TEL(0559)62-3983	
北海道釣具サービスセンター 〒065 札幌市東区北十条東1 TEL(011)752-6622	

株式会社シマノ

釣具事業部 〒590-77 大阪府堺市老松町3丁77番地 TEL(0722)23-3461
(アフターサービスお問い合わせ先)

釣具サービス課 〒592 大阪府堺市築港新町1-5-15 TEL(0722)43-2851

シマノ釣具のお問い合わせ、ご相談は、上記全国サービスネットまでご連絡ください。

Printed in Japan

009

SHIMANO